



Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 **東京多摩グリーンロータリークラブ**

1991~1992年度クラブ目標 “親睦と奉仕の流れを創ろう”

❖❖❖ 第54回例会報告 (11/27) ❖❖❖

特別代表 由井 重光

司会 SAA 北村 幸彦

☆点 鐘 会長 田中 實

☆ロータリーソング 「手に手つないで」

リporter 小島周二郎

☆会長報告 会長 田中 實

※次年度役員・理事の指名委員会開催

1991.11.25(月) PM 7:00~

於：クラブ事務局

出席者氏名

田中 實、赤尾 恭雄、宮本 誠、
永田 健作、大熊 将夫

次年度役員理事の選出を協議、候補者を
決定しましたので後程指名します。

※11/27 町田東R Cチャーターナイト開催

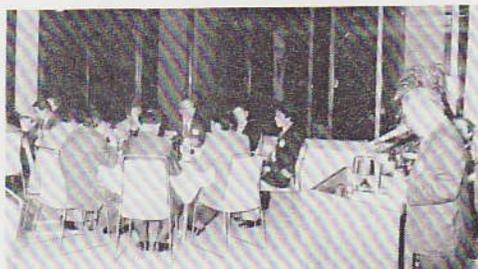
当クラブからの出席者、会長 田中 實
会長エレクト 赤尾恭雄

※次回理事会の議題

規定審議会の議題の一部訳文が事務局に届
いていますので閲覧して下さい。

※規定審議会（国際ロータリー）について

例会時間60%出席規定論議について先日の
例会に於いて、吉尾会員が仕事先から会社
のユニフォームで遅刻をしても駆けつけ
た例からも、出席時間の割合を論議するよ
り、ロータリアンとしての義務感とその意



【例会風景】

欲を、より大切にすべきであり、この問題
は理事会に於いて尚審議を尽くしたい。

※決議23-34について理事にお願い

現行の決議文を廃止し、原文に10項目の新
声明を付けたものに変更したいとの案の比
較資料が収集出来たので近日中にF A Xに
て送付しますので次回理事会までに研究検
討をお願いします。

☆幹事報告 幹事 宮本 誠

※ロータリーの友事務局より卓上ロータリー
ダイアリーの追加注文を受けますので必要
の方は支給事務局までお申込み下さい。

※他クラブの例会変更

東京飛火野R C

12/17(火) 夜間例会 Xマス家族会

12/24(火) 夜間例会 忘年例会

12/31(火) 特別休会

1 / 7(火) 夜間例会 新年例会

東京武蔵府中R C

12/20(金) 夜間例会 クラブ年次総会

12/27(金) 休会

1 / 3(金) 休会

1 / 10(金) 夜間例会 親睦新年会

2 / 7(金) 移動例会 北海道雪祭り

各クラブ年末年始の例会変更は多数あるので、メイクアップの際は事務局にて事前に確認して下さい。

※次回理事会

会長報告中の次回理事会は 12/4(水)AM10:30より事務局にて開催されます。

【次年度役員理事候補者指名】

会長 田中 實

会長 赤尾 恭雄 会長以外 横倉 舜三

副会長 萩生田茂夫 幹事 遠藤 二郎

会計 伊神 稔 理事 足立潤三郎

理事 新海源四郎 理事 吉田 文夫

理事 吉尾警太郎 理事 吉沢 洋景

以上10名を 11/25開催の指名委員会で指名致しました。尚12月最終例会後の総会に於いて決定致します。

☆委員会報告

★親睦委員会

ニコニコBOX

田中 實 町田東RCのCNに出席、当クラブのCNが懐かしく思い出されました。

赤尾 泰雄 町田東RCのCNに出席してきました。

宮本 誠 本日スクラッチ会に初参加、予定の成績を納めたので。

小城 章員 先週新海会員のホームの見学で大変お世話になりました。

吉尾警太郎 スクラッチ会で皆様の期待を裏切りました。次回乞御期待!!

杉田 誠 無事退院出来たので。

戸田 昭寿 今日は結婚記念日、家でワイフが待っていますので急いで帰ります。

奥木 博勝



吉田 文夫 イニシエーションスピーチでトチリません様に。

大熊 将夫 小堀憲助著「ロータリー運動とは」一冊 800円で販売中!!

橋本 幸夫 前回例会を欠席したので。

伊神 稔 新海さん先週はお世話に成りました。

北村 幸彦 スクラッチ会で成績不出来の為皆さんに喜ばれました。

遠藤 二郎 スクラッチ会でお世話に成りました。

海野 栄一 今晚はおとなしくしています。

今井 正司 スクラッチ会初参加、今後共ヨロシク。

萩生田茂夫 スクラッチ会で海野さんに勝ち、通算成績6勝2敗に。

松原 健 第6回スクラッチ会及び取切戦W優勝出来たので。

足立潤三郎 スクラッチ会で久しぶりにラウンド半やって来ました。

以上合計 48,000円

※親睦クリスマスパーティについて

12/25(水) 夜間例会終了後、19時40分より21時までの予定でオークラに於いて開催、昨年同様夫人同伴ですので奥様にお伝え下さい。詳細は追ってお知らせ致します。

★出席委員会

松原 健

(出席報告)

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	43	36	0	7	83.72%
前回訂正	43	38	2	3	93.02%

〔先週のメイクアップ〕

北村 幸彦 11/25 (東京調布RC)

中山 恒武 11/18 (新会員情報セミナー)

須藤 起雄 11/18 (新会員情報セミナー)

津守 弘範 11/26 (東京多摩RC)

吉尾警太郎 11/19 (東京多摩RC)

〔欠席者届〕 中山 恒武、津守 弘範、横倉 恒雄、小坂 一郎

〔欠席者〕 増川 徹、城倉 正博、吉原光太郎

※出席率100%目標テ一達成の為、事前メークアップ予定の方は本日欠席者に是非お声掛下さい。

★社会奉仕委員会 小城 章員
11/20 新海会員の楽友会見学では大変お世話になりました。由井特別代表外本会員の半数以上の方が参加、来春再度計画しているので今回欠席者は是非御参加下さい。
見学後の感想文もなるべく提出して下さい。

~~~~~イニシエーションスピーチ~~~~~

「多摩に生まれて、ニュータウンを想う」

横倉 舜三



多摩に生まれ、育った者として、多摩ニュータウンの出来た経緯を話します。三千ヘクタールの広大な多摩ニュータウンは十八ホールのゴルフ場が五十個出来る広さである。そこ

には二千世帯の地主さん達がいて、その人達の殆どが職業を変えなければならぬと云う日本の開発史上稀に見る奇跡の開発と云う事が出来ます。今後日本において、このような開発は二度と出来ないだろうと思う。同時期に買収が始まった成田空港ははまだ建設反対運動が続いている。多摩ニュータウンでは反対運動はあまり表面化しなかった。当初の計画は人口45万の大住宅団地をとの計画で、住棟間隔も狭く駐車場も少なかった。今日問題になっている諏訪、永山、愛宕団地がそれに当たる。その後大学等の進出により文化学園都市としての色彩を強めたり、多機能都市又、国際都市へと計画が変更され現在30万都市として色々な問題をかかえながら進められている。

例えば46年から50年始めにかけて団塊の世代が一挙に入ってきたことによって、この人達も20年経つと老人の仲間入りするがその対応が全く考えられていない。最近になって新海会員が理事長である老人ホーム等がクローズアップされる様になって来ている。又、ニュータウンの内に神社、仏閣等が全く考えら

れていなかった。年を取っての最後の心の拠り所は仏様や神様だと思う。又鉄道の乗入れは街づくりの基本であって、今日の多摩ニュータウンは、京王と小田急の2本の乗入れがあってこそ発展をして来たものと思う。新駅が7駅も出来たが、その駅前周辺計画は白紙の状態が始まったにもかかわらず、市民が自分たちの街として誇りに思える駅前づくりは、行われていない。賑わいと人間性のある街とは現状は程遠い。この外数々の問題をかかえながら多摩ニュータウンは今完成しようとしている。

この街の出来た経緯は東京に集まって来た人達の住宅難解消の為、国策として行われたが、農民や地元の人達がなぜ土地を売らねばならなかったか…。普通であれば成田空港と同じ様に農民の生活をどうするかで反対運動が続いたはずであるが、地元には地元の事情と、永年この土地に住む者の土地柄や風土に依って国策と云う大義名分であるこの大計画を受け入れた訳である。その根本と成るものは地形に依るものと思われる。多摩丘陵は樹枝状に小さな谷戸が幾つも入り込んでいた。落合では青木葉谷戸、楢原谷戸、中沢谷戸、唐木田谷戸等で小さな谷戸には段々畑、田が作られ、屋敷も平坦な所は少なく車が入り出来る家はほとんどなかった。この丘陵の農業は人の背中にたよる農業であったことから近代化に迫られていた。明治、大正、昭和初期まで、養蚕に支えられてきたが、戦後それも絶えた。戦後若者達がこの土地に新しい産業をと二ワトリや豚を飼ったり、乳牛、野菜の栽培等色々試みをして来たが、全て背中にたよる農業から抜け出す事が出来なかった。この問題を打開して行く為には、農地改良や農道の改修をして、機能化の導入を図っていかねば農業の近代化をする事は出来ないとその資金になればと今の府中C C 辺りの山林を売却したが、近代化の足しにはならなかった。このような状況にあった時期に、国、公団からのニュータウン計画の話があり地元民からの反対運動もほとんど無かったのだと思う。又、多摩丘陵の穏やかな土地柄も大いに好影響した様に思われる。時間が足りないの

で以下省略しますが私の著書「多摩丘陵のあけぼの」を是非読んで下さい。

「情けは人の為ならず」

吉田 文夫

私は昭和13年3月、福島県いわき氏の小名浜で生まれました。父は米穀業を営んでおりましたが、20年程前他界し、現在兄が家業を継ぎ、弟が支店を出しています。母も今年8月に82才で亡くなりました。その節には当クラブから花環等を頂き有難うございました。



母の思い出は沢山ありますが、生前は誰にも分けへだてなく親切で家業の米穀店や子育てに働きつくめだった様な気がします。生前「喜寿の祝い」に知人から送られた一句があります。「店守り 笑顔たやさぬ 半世紀」(真佐子)さて地元の中学、高校を卒業し、半年程家業の手伝いをしていましたが、東京への憧れと云うものがあったのか、上京し、翌春明治大学、政経学部の経済学科へ入学しました。大学では本来の勉強より、映画研究部へ入り試写会などで年間300本近い映画を観ていました。昭和36年に卒業し、就職は自動車のディーラーの「東京マツダ販売㈱」へ入社しました。入社した動機は運転免許を学生時代に取得したことや親しみやすかったことなど割と単純だったと思います。当時の自動車業界は、高度成長の業界でアメリカのGMの売上高が日本の国家予算を上回る程でした。マツダもやっと三輪トラックから軽自動車へそして乗用車へと発展途上にありました。以来25年程本社の法人部や各営業所を代り、マツダ車の販売をして来ました。東京マツダはディーラーとしてはメーカーの資本の入っていない独自の企業でしたので、新会社として

ドイツのBMWの正規代理店の契約を結び、「㈱アルピンアウト」として関連会社が誕生し、昭和62年に多摩ニュータウン営業所が多摩永山に新設され、所長として着任し、4年後の現在は、調布の本社に勤務しております。BMWは輸入車の中でも安全性にすぐれており、国産から乗り換える方も多く、ここ数年は15%以上の成長を続けています。貿易摩擦解消のためにも、又現代人の消費に対する多様性、個性化が進み、よりハイクオリティな品を求める人も増え、輸入車は年々シェアをアップしていくと思います。

さて、私の好きな格言の一つに「情けは人の為ならず」という格言がありますが、先日若い人達と話していた所、この意味を別の意味に解釈している人が多く驚きました。彼等は「情をかけてやるのは相手のためによくはない。相手の自立とか成長のたの障害になる」と言うのです。私は、やがて自分にもよい報いが返ってくる。他人のためにやさしくしたり、世話をするのはつまり自分自身のためになる、と理解しています。情けという言葉自体、義理人情など日本的で時代がかった言葉のように思われますが、古今東西いつの時代に於いても通用する、これ程人間関係をはっきり示している言葉は少ないと思います。今日のように物質に恵まれた社会に於いては、すべて自分本位に自分さえよければ他はどうでもという風潮がある気がします。人に対し、ごく自然な形のまま報いを期待しない無意識のやさしい、思いやりの行為や情をかけることはめぐりめぐって自分によい結果をもたらすものだと思います。

最後に昨年9月に発足した我が多摩グリーンRCには、出席だけは現在の所、メンバーアップをして100%をキープしています。まだまだ勉強不足ですが、会員の皆様方と協力し合い、親睦と協調を基に会の発展のために協力して行きたいと思っています。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会 長：田 中 貴 副委員長：栗田文夫・委員：吉澤恭雄
幹 事：宮 本 誠 常務二部：津守弘毅・橋本洋二
会幹事務局長：足 立 義三郎

※例会場 多摩そごうデパート7F サブアイパインケットルーム

事務所：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30